

地方凡例錄  
午

成本.149

73

6425

7





73  
6425  
7

地方凡例録卷之七目錄

一 帳後リ之事

附リ 地方之帳之事

山登入系帳之事

納押明細帳之事

沙島入系帳之事

山登入系帳合下死市之事

帳年山登入系帳可出出胡月之事

諸帳可付法之事



地方元例錄卷之七目錄

一 帳簿之類

一 地方之帳簿

一 山形縣帳簿

一 納拂明細帳簿

一 沙知之帳簿

一 山形縣帳簿

一 帳簿之類

一 簿帳之類

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '帳簿' and '地方'.



一 勤方帳始り之事

附 編置西に之方改りし由書之事

勤方帳の事出入帳入方之事

一 村濫帳之事

一 山妻清没始之事

一 村去出明細帳之事

一 庄屋名之事

附 路手山受入法之事

一 畑預之事

一 百姓代之事

一 私願大庄屋之事

一 五人組之事

一 五人組帳並書之事

一 私願之百姓料之村役人勤之例之事

一 中編百姓之事

附 百姓序願之事

多酒百姓高字係止之事

江戸町人等口係止并町中係

之事係百姓等口山係止之事

同上下番用係止之事



一 寄抄白山庵書及不苗字等刀折免之例

一 分洞室抱石燈之事

一 石燈新狀高貴信止之事

附 享保七之中山的書之事

一 欠所石燈取得之事

附 欠所上并逐電取之事

一 欠所向石方之事

一 欠所人欠所并之事

一 石燈男女欠所之事

一 奉公人於欠所先惠事之事

身欠所之事

人至殺為事近以白身外各人欠所石燈及人各之事

欠所逃教四難事之事

出公 逃教 欠所 出并 逐電 劫當

四難 假保

一 劫當四難假保之事

附 義保之事

以上





地方凡例錄卷之七

一 口糧及之事

地方之糧之事

山及之糧之事

納拂明之糧之事

山及之糧之事

山及之糧之事

口糧及之事

編修之法之事

口糧及之事

山及之糧之事

納拂明之糧之事

山及之糧之事











一 山乃系地初、十日限、乃由入定法、是乃、三原、幸中、分、山、代、及、檢、元、  
 深、海、乃、乃、三、日、日、限、乃、國、乃、乃、乃、乃、三、日、日、限、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、  
 一 口、世、乃、  
 外、乃、  
 乃、  
 一 諸、皆、乃、

一 口、限、限、乃、 紙、乃、  
 一 竹、限、乃、  
 一 勤、乃、  
 一 山、乃、  
 一 諸、皆、乃、

細、細、目、乃、  
 乃、

一 同、下、限、乃、  
 一 定、免、檢、元、乃、  
 一 勤、乃、

勤、乃、  
 有、德、院、乃、  
 乃、



















一村委明細帳之事

是年三月田畑之及別年八月分令石原之山林特備川  
川谷川橋支那渡步後一以古溪谷古取用水川原及橋坎  
梅光臨池以山山善信不自善信之新而教人年之自教  
年社修善法儀之用水抄一以水早換之古善之新行  
亦之自教而年比降也之古善業之小男女福渡橋所  
之古山早降也之河原代里教以古善之古善之古善  
之古善之一年之古善之材以人古善之古善之古善  
向材修善之古善之古善之古善之古善之古善之古善  
之古善之古善之古善之古善之古善之古善之古善

引酒廣性向之材方之也一也性向也一也材方也一也  
出令一財用之材方將合事離教也出

留入之材方之古善之古善之古善之古善之古善之古善  
柳之古善之古善之古善之古善之古善之古善之古善  
材方之古善之古善之古善之古善之古善之古善之古善  
中之古善之古善之古善之古善之古善之古善之古善

一 庄屋名之濫觴之事

附 各庄屋名之濫觴之事

村屋之濫觴之事各庄屋名之濫觴之事濫觴之事濫觴之事



とて始りて自ら申し申目と名を賦しとて又序を記しとて申目  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し

聖武天皇の御宇に於ては信濃の郡を修治之に勤しつて州  
郡縣里を撰みしに田里を記しとて檢せしに凡そ五百六十里  
ありしに毎々長を記しとて檢せしに凡そ五百六十里ありしに  
大無農の方即ち之を記しとて檢せしに凡そ五百六十里ありしに  
とて一之賦を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し

押後了士農を列しつて村里に農を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し

一 名を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し

村を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し

皇代を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し  
之序を記しとて名を記しとて一之賦を記しとて名を記し



各々之を以て合て其旨是又之任の事と物之材を以て其門に  
其年より一振多し其後年中希勤に村方も又其門に其年  
其或ハ持て山移合之石備合之と其之を建材とて内移合月と  
一之之代沙材方合之自ら持て其之を建材とて其方其之  
其右ハ其之法合之其之其之其之其之其之其之其之其之  
係其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
夫其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之

一 細路と云ふは久し年五人組に改改改一と今其内其年  
小菅人小菅之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之

三人其極重各々一其之其  
其其地路其用向成市其病氣或は其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之

一 石門代各々細路と云ふ其村希大其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之  
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之其之















族者村にありしものハ勿論又他族に送るにたしきて  
政任進中

一 庄を領する事と方下とを合するも内証おぼしき門習  
より後新に御出でた事の中

一 官報より宗門様より御出でた御出でた御出でた  
より官報より宗門様より御出でた御出でた御出でた

一 官報より宗門様より御出でた御出でた御出でた  
より官報より宗門様より御出でた御出でた御出でた

一 田舎中代書買出備止る所管入より御出でた御出でた  
より官報より宗門様より御出でた御出でた御出でた

地より御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた

一 御出でた御出でた御出でた御出でた御出でた



得るも一計三事と云ふ事

- 一 風水早云中夜毛三市物廣城と云ふ所先被不中三山將て  
 生食程使余江 作有山向山拉毛と云ふより以傳と云散  
 也臨之と云ハ拉毛と云事と云事と云色水將ハ融成と云事而  
 句江其貫中云と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 家世業中三可也中夜毛三市物廣城と云ふ所先被不中三山將て  
 思く酒多飲い又ハ石多と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 少飲之云と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 常ハ喧嘩早歸と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 也中夜毛三市物廣城と云ふ所先被不中三山將て

- 一 旅及病病と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 洲神洲國と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 陸海と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 松竹自今と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 多飲限と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 百姓と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 新江川込りと云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 取立不取立と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 波之美と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事  
 一 弱と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事と云事



一 地妻也而婦一海陽貞之志有之如公之有子一高年事也地妻  
二 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
人年而夫也所養料之也而夫也而信之愛若夫有妻  
三 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
四 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
五 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
六 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
七 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
八 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
九 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
十 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻

一 人年而夫也所養料之也而夫也而信之愛若夫有妻  
二 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
三 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
四 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
五 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
六 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
七 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
八 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
九 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
十 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻

一 地妻也而婦一海陽貞之志有之如公之有子一高年事也地妻  
二 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
人年而夫也所養料之也而夫也而信之愛若夫有妻  
三 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
四 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
五 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
六 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
七 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
八 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
九 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻  
十 似身也而夫一切信之愛勿端而夫也而信之愛若夫有妻















白米枝之... 中...

一 米之... 酒樽... 酒造一切は同浦...

一 農事... 米... 種物... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

一 米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

一 米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

一 米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

一 米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...

米... 樽... 樽... 樽... 樽...



一 此書は... 抄本...

一 諸書は... 抄本...

一 公家... 抄本...

一 此書は... 抄本...

一 此書は... 抄本...

一 此書は... 抄本...

一 此書は... 抄本...

一 此書は... 抄本...

一 此書は... 抄本...

一 此書は... 抄本...

一 村方... 抄本...

一 又... 抄本...

一 此冊... 抄本...

一 此書... 抄本...

一 用... 抄本...

一 此書... 抄本...

一 此書... 抄本...

一 此書... 抄本...

一 此書... 抄本...

一 此書... 抄本...



















一 中絶の姓之事

附 白姓序 願之事

之偶の姓高字後止之事

望命人等口後止事町事等中絶

之中絶の姓等口出止之事

其指との也應高字高字等口 沖免を例

之中絶を下る用後止之事

中絶の姓高字後止之事 望命人等口後止事町事等中絶

其指との也應高字高字等口 沖免を例

之中絶を下る用後止之事

之中絶の姓高字後止之事 望命人等口後止事町事等中絶

其指との也應高字高字等口 沖免を例

之中絶を下る用後止之事

之中絶の姓高字後止之事 望命人等口後止事町事等中絶

其指との也應高字高字等口 沖免を例

之中絶を下る用後止之事

之中絶の姓高字後止之事 望命人等口後止事町事等中絶

其指との也應高字高字等口 沖免を例

之中絶を下る用後止之事

之中絶の姓高字後止之事 望命人等口後止事町事等中絶

其指との也應高字高字等口 沖免を例

之中絶を下る用後止之事



甲列の事内家し海人本府に在りて中絶する古来の海人  
ありて其後集りて言ひて而字平力と云はれ居る事ありて中絶  
御事下りて陳化を到りて中絶する事ありて中絶する事ありて  
中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶  
する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する  
事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事あり

一 而此序の事久古に平力中絶する事ありて中絶する事ありて  
神事本府に在りて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶  
する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する  
事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事あり  
中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶  
する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事あり

一 而此序の事久古に平力中絶する事ありて中絶する事ありて  
中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶  
する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事あり  
中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶  
する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事あり  
中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶  
する事ありて中絶する事ありて中絶する事ありて中絶する事あり



知楊高字存余之... 中鼎及過之... 此而字存高之... 此而字存高之...

百姓下之用... 中... 入... 此而字存高之...

一 江戶町人... 神君御... 此而字存高之...

常憲度... 此而字存高之... 此而字存高之...



有德... 中山... 此而字存高之...

一 江戶... 此而字存高之... 此而字存高之...

神祖... 此而字存高之... 此而字存高之...







二十二年十月五日午後八時頃迄の事

有徳院様御付物事此記明々此に在座十三年八月所在の  
中山の事守大國御守守長町と云ふ事書く事友編和漢云  
えりやうをさるる事再々村中へ此に付書く事書く事  
徳と云ふ事しん中右の事守長町中法持地所へ入用を以て事  
を事する町人而此守力に云ふ能く事守長町へ

一 寺持と云ふ山座守力に下苗字守力即ち守力に云ふ事

信長院様御付物事此記明々此に在座十三年八月所在の  
那少人村而此守力に云ふ事守力に云ふ事守力に云ふ事  
苗字守力即ち守力に云ふ事守力に云ふ事守力に云ふ事

皆列地村が事と云ふ事守力に云ふ事守力に云ふ事  
苗字守力即ち守力に云ふ事守力に云ふ事守力に云ふ事  
右村守力に云ふ事守力に云ふ事守力に云ふ事守力に云ふ事  
守力に云ふ事守力に云ふ事守力に云ふ事守力に云ふ事

岩座守力に云ふ事

信長院様御付物事

苗字守力に云ふ事

石守力に云ふ事

信長院様御付物事























猶也... 耕化と... 山書... 色

かん

一 編國... 一 田方... 一 百姓... 持...

一 樞... 一 村... 一 石... 一 右... 一 以...



相守に但希しく入化に對し希極に在るを以て  
く白くするに由り也

一 想而して丹書其業を以て爲るに似て一 爲る事なきを以て

之を修止に但之年久矣高貴するは生りあるの事なきを  
自今其取に高貴の事なきを以て辨化すして之を修す

但山方と希極に在るに由り也

我が取に高貴の事なきを以て辨化す

右の事と似てくわゆる事なきを以て辨化すして之を修す  
其事とくわゆる也

享保七年三月十一日

一 欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事

欠所を以て辨化す事



細海公の殿へ格束巨細の事は味着の傍りより一書札に  
小舟人上御先之云々なる事細海公に公事通由  
吟書書札に一時の事なりといひ早書書札に山奉の御  
事云々なりといひ如云々事なりといひ又い備へ  
方收言に三書書札に田畑事候て後方候事  
治とお札に一書書札に白書書札に一書書札に  
お中候事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
尋方の方お事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
同家にお事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
又お事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候

御事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
末進事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
いさしお事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
い書信用に云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
お事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
泥科事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
石布事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
取事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
お事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候  
一 獨身事云々事候と云々事候と云々事候と云々事候







云々前と云々後居りて其後云々一物左書付

公儀云々し唱紙送少しや云々年方吟味及び改修云々申上内  
云々云々云々如左云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

一 欠居人等下付の時他付申りて同記口紙云々云々云々云々

云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々















おとてお中ふりて云々以て又と云々  
汲人四難世不わ影光之方中  
く色之午りてと切あるは  
日月之と云四難世不わ影光  
之と云々  
報以けは人との科  
候し水乃の  
節日因、水合  
科之

と云々  
汲人四難世不わ影光之方中  
く色之午りてと切あるは  
日月之と云四難世不わ影光  
之と云々  
報以けは人との科  
候し水乃の  
節日因、水合  
科之

一

事成取人























降家系初教口如... 石和... 生... 出入... 及... 三...  
至... 四... 日... 如... 一... 一...  
... 回... 一... 一... 一...  
... 一... 一... 一... 一...  
... 一... 一... 一... 一...

地方元例録卷之七終

...



